

2025 第 1, 2, 3 RUTC 永遠の答えの始まり (49) (社)世界福音化伝道協会 www. weea. kr		
2025 年 12 月 6 日 週間祈りカード		
△産業宣教/金土日時代のやぐら 43 産業人の方法はただの一心(使 1:8)	△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 42 レムナントは唯一性に向けた全心が武器(使 1:8)	△核心 永遠の持続の内容を持ってこそ世界福音化できる(使 1:8)
1. 絵 産業人として一年を整理して絵を確かに描かなければならない。 1) 考えと心は必ず脳とたましいに刻印されて、御座とつながる。 2) 神様のやぐらが作られれば旅程を進み、道しるべを建てることができる。 3) すると私の中に WIOS、OURS、Always withs が作られる。 2. ただ(必ず)私が今必ずすべきことが何か質問すれば、ただが見える。産業人、重職者は三つのことを見るべき。 1) 絶対不可能-エジプトの王が子どもたちを殺せと命令したが止めることはできない。 2) イスラエル民族がエジプトを抜け出すことが神様の絶対計画であることを見た時 3) 絶対可能が見える-息子を王宮に送らなければならない。考えを変えれば霊が生かされて方向が変わる。 3. 一心-24、25、永遠 ただが見えるとき、一心が可能だ。一心を必ず合わせてしまえば24、25、永遠。24 すれば 25 が来て、永遠の作品が残る。 「産業人の方法-ただの一心」 □本論 1. アブラハム(創 13:14-18) 1) 不信仰を発見して捨てた。 2) 祭壇を築き始め。神様をくださった約束を絵で描く。 3) 創 22:1-21 息子が死ぬべきなのに雄羊。世界福音化を語られる。次世代に伝えられ始め。 2. ヨセフは(創 37:1-11)初めから発見 1) ヤコブは心にとどめた 2) ただをあらかじめ発見したので、すべては道になった。 3) ただが成就する世界福音化の主役になる。 3. イテロ(出 18:1-21)ただを発見せずには不可能 1) モーセを婿とする。 2) ファラオの前にまた行くと言うときに許す 3) モーセに助言 4. ハンナ、エッサイ 1) I サム 1:9-11 ナジル人が必要であることを発見 2) I サム 17:1-47 ダビデを戦場に使いとして送って、必ず渡してしるしを持って来なさいと言う。 5. オバデヤ最も悪い王が信任する臣下、エリヤが最も重要に見る弟子。これが産業人が持つ基準 1) 100 人の預言者 2) 7000 人の弟子 3) ドタンの町運動。ただを発見してこそ 300%することができる。 6. ダニエル(ダニ 1:8-9)ただを発見。心を定める。 7. ロマ 16:1-27 ただを発見。裏面契約が出てくる。 □結論_当然、必然、絶対 ただは当然なのに、必ずすべき必然。いよいよ命をかけてしなければならない絶対。	序論 1. レムナントは福音、祈り、伝道システムをはやく作らなければならない。自分も知らないうちに荒廃した状態だ。それゆえ、はやく直さなければならない。 2. 神様が造られた私、私のこと、私の現場が見える。 3. そのときから、ただは発見すれば良い、唯一性は持つて行くことだ。 □本論 1. 創 41:1-38(二つ)ヨセフがすでに持つて行った。既成世代が知らないこと、現場に行ったり、その国に行ったが、その指導者が知らないことを知っていた。 2. 出 3:18-20 「血のいけにえをささげること、最初に長老たちに、そしてファラオの前に行って話し」 3. 雅 4:1-5、I 歴 29:10-14 ダビデがすでに国を生かす 1 千やぐらを建てておいて世界を生かす神殿を準備した。  △散らされた弟子たち/7:7:7 のモデル 43 散らされた者の三つの方法(使 1:8)  □序論 パウロが上手にしたこと、時間を定めた。三週間(使 17:1-2)、毎週(使 18:4)、3 か月の間(使 19:8)、2 年間(9-10)。 □本論_三つのことを同時にした 1. 使 1:1 -キリスト-一心 2. 使 1:3 -神の国-全心 3. 使 1:8 -再創造-持続  4. II 列 2:9-11、II 列 6:8-24 ただを発見して、ドタンの町運動もすでに唯一性を持つて行った。 5. I サム 7:1-15 サムエルは幼いときに発見した。ミツバ運動は単に成されたのではない。しきりにペリシテのせいだと言うが、サムエルはすでに悟っていたのだ。 6. ダニ 1:8-9、ダニ 3:8-24、エス 4:1-16 すでにただを発見していて、唯一性を持つて行った。 7. 使 9:1-15、II テモ 2:1-7 -パウロはただを発見して次世代に伝達した。 □結論 答えが出てくれば 1. 一心になる 2. 全心 3. 持続になる。 それゆえ、レムナントの祝福を受ける生活になる。このとき、御座の力が現れて世界福音化が起こる。  △今日から質問と答えの基準を変えなさい。レムナントは「私はレムナント。残りの者、残る者、残れる者、残す者、見張り人」と考えるべき。 △一つの地域を定めたとき、神様の絶対やぐらが建つように待つて見つける。残りの者、巡礼者、征服者を握って絶対旅程を行う。そのとき散らされた者、見張り人が見えて、偵察人が出てくる。教会に大路を造り、万民のために旗を掲げる人が出てくる。	健康が良くない方々は祈りを別に見つけ出さなければならない。レムナントはサミットタイムを持たなければならない。レムナント 7 人はほとんど追われる生活を送ったので、現場で今、祈りを味わったのだ。 □序論 1. 7・7・7 実際の祈り 1) 毎日集中(呼吸) -朝、昼、夜に集中+脳と霊とからだを生かす呼吸集中 平安、力、24・25・永遠になる祈り 2) 毎時間確認-祈りで毎時間確認する。 3) 毎事件 300% -編集、設計、デザインする。 2. 三つの答えがくる。 1) ただ発見 2) 唯一性を持つて世の中に出て行く。 3) 現場に行ったとき、再創造が見えれば挑戦 3. 世界福音化になり始める-再創造 1) 創 45:1-5 総理になったヨセフ 2) 出 5:1-12:46 10 の奇跡-全世界とカナンの地に伝達 3) I サム 7:1-15 ミツバ運動 4) ドタンの町運動 5) バビロン運動 6) ローマ このとき、永遠の持続が起こる。その終わりは世界福音化だ。私たちの答えは 237-5 千種族につながるのだ。 □本論_このときに起こる重要なこと 1. 永遠に持続するミッション(使 1:3) 祈り-来るから信じて器を準備しなさい。 1) 御座のやぐら 2) 御座の旅程を進む人 3) 御座の道しるべを建てる人 △契約を握るとき、神様は働きを始められる。12 弟子を立てた理由、12 世界教区を見るべき。来年には多民族を教役者、重職者として立てなければならない。本当に世界福音化しようとすれば、お金が不要な人を立てて送らなければならない。 2. 背景と内容 1) 過越祭-キリスト 2) 五旬節-聖霊 3) 仮庵祭-御座の背景 3. 流れの答え[福音運動 X] -福音運動がしばしばなくなる理由は重要な流れを逃すから 1) みことば-福音が流れるみことばの流れを逃してはならない。 2) 祈り-同じ 7・7・7 祈りだと見えるのに生きて動いていくのが見える。 3) 伝道の流れ 4) 現場の流れ 5) 一つの国の流れが見える。これを逃すと持続できないということだ。 △明日祈って説教を聞いて出てくる答えを祈って刻印させなければならない。すると確定されて六日間、それを置いて祈れば火曜集会のとき、確認するだけでもつながる。メッセージが繰り返されるように見えるが一つずつ進む。それを見ることができない。すると、すべての答えが持続する。 □結論_ 300%準備

2025 第 1,2,3 RUTC 永遠の答えの始まり (49) (社)世界福音化伝道協会 www.weea.kr		
2025 年 12 月 7 日 週間祈りカード		
△区域メッセージ第 49 週 文化サミット 300%(創 45:5)	△聖日 1 部 十字架のことば(Ⅰコリ 1:18-31)	△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 神様の神殿(Ⅰコリ 3:1-16)
<p>文化サミット 300% -私たちが受ける祝福の中の一つが文化サミットだ。ここに 300%祝福を受ければ、ほかの人を生かすことができる</p> <p>□序論</p> <p>1. 7・7・7 24 味わう、25 待つ、永遠 挑戦 <b>霊的サミット</b></p> <p>神様がくださった 7 やぐら、7 旅程、7 道しるべを 24 味わって、25 待つて、永遠に挑戦することを霊的サミットと言う。私たちは毎日力を受けて、毎日信仰の勇気をもって、毎日神様の前で生きてこそ、からだも霊も生かされるようになる。</p> <p>2. 7・7・7 編集、設計、デザイン <b>技能サミット</b></p> <p>神様がくださったことで編集、設計、デザインすることを技能サミットと言う。</p> <p>3. 7・7・7 学業、仕事-文化サミット</p> <p>この祝福が私たちの生活、学業、仕事を通して現れることを文化サミットと言う。</p> <p>△毎日伝道ができなくても、今日は私がだれに福音を伝えるかを考えなければならぬ。今日、だれかに会えば必ず恵みを受けたこと証ししなければならない。ある人は、人に会えば必ず悪口を言う。地獄に行くことはなくても、地獄のように生きなければならない。</p> <p>□本論</p> <p>1. <b>ただ発見</b></p> <p>1) タラント- 「しかし(ただ) 聖霊があなたがたの上に臨めば」 私たちにある重要なタラントが出てくる。これは一生のこともあるが、行く所ごとに見えたりもする。</p> <p>2) 伝道も見え始める。</p> <p>3) 職業に、ただが見える。学業に、産業に、ただが見える。</p> <p>2. <b>唯一性を持つ</b></p> <p>ヨセフはただを発見した。夢に出てくるほど見つけ出したのだ。奴隷として行ったり、監獄に行ったりしても、何の関係もない。唯一性の答えを持って行ったのだ。</p> <p>1) 現場を生かすようになる。</p> <p>2) 人を生かすようになる。</p> <p>3) 事件に会うのに生かすようになる。</p> <p>3. <b>再創造</b></p> <p>1) 未来が生かされる。</p> <p>2) 癒やし-多くの人を癒やすようになる。</p> <p>3) 再生産-学業、職業、産業、教会も再生産が続けて起こらなければならない。</p> <p>□結論</p> <p><b>RT 7</b>、ヘブ 11:38</p> <p>△これを実際にレムナント 7 人がみな受けた。それゆえ、どこでも私がしなければならない、ただを見つけて出さない。すると、私たちはすでにただの祝福、唯一性を持ってほかの人に行って再創造する。ヘブ 11:38 は世の中にふさわしくない人々だ。世の中が私たちに勝つことはできない。しばらく混乱があるだけであって、暗闇が光に勝つことはできない。</p>	<p>1. 礼拝のとけみきを見つけて出さない-三位一体の神様の働きが起り、御座の力が臨在</p> <p>1) 賛美-天の軍勢動員、御座のこと、天と地が動くこと</p> <p>2) 代表祈り-神様が答え 3) 献金-3 経済が回復する唯一の道</p> <p>4) 空いている時間-みことばを握って今日神様が私に働かれることを待つ</p> <p>2. 考えを変えて目を開かない-助けてもらうことを考えるのではなく、だれを助けるのかを考える</p> <p>3. 特別祈り課題-牧会者と特別専門家になる人のための教会の中の小学校(刻印、霊的力)</p> <p>□序論_幼いときに刻印させなさい</p> <p>1. ヨセフ-創 37:1-11 を悟るようにさせたその背景(祈り)</p> <p>2. モーセ-福音と祈りを確かに教えてエジプト王宮に入れた。</p> <p>3. サムエル-生まれたばかりのサムエルに力を植えられた神様</p> <p>4. ダビデ-幼いとき、羊を守って祈りを学び、賛美して詩を書いた。</p> <p>5. パウロ-会堂に訪ねて行った。</p> <p>6. 申 6:4-9 主を愛して今までの働きを子どもに刻印させなさい。</p> <p>□本論_味わって教えること</p> <p>1. 霊的刻印-暗闇癒やし</p> <p>1) 創 3、6、11 エデンの園事件、ネフィリム時代、バベルの塔時代</p> <p>2) 使 13、16、19 偶像崇拜、悪霊につかれた者の話を信じる。</p> <p>3) 未信者 6 状態-悪魔の子ども、霊的問題、肉体的問題、次世代伝達、地獄背景</p> <p>4) 家系、家庭に入ってきた暗闇</p> <p>5) 私に入ってきた暗闇-霊的状態の荒廃、祈りができないから霊的力がない。</p> <p>6) 教会に入ってきた暗闇-教会の雰囲気、サタンが私の中に作った家、要塞、悪魔、世の神、世の支配者に仕える</p> <p>2. 霊的力-根</p> <p>1) 霊的なことを分らない実際の力がない-福音を軽視して、無意味に考え、自分の知恵で神様を分らないので伝道で救い(18-23 節)</p> <p>2) まことのカ-キリスト(24-31 節)</p> <p>3) 世の中に勝つ力-だまされてはならない。</p> <p>3. 霊的使命-体質</p> <p>1) 一番低いところに行ったが一番高いところに導かれた神様-ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、バビロンのレムナント、ローマ</p> <p>2) イエス・キリストが 40 日間くださったこと(御座のやぐら、旅程、道しるべ)の証人になる</p> <p>3) この答えを受けたパウロ-すべてを下ろしてキリストに会ったことと神の国を大胆に宣べ伝えた</p> <p>□結論</p> <p>1. 人生の終わりに残ること-伝道したいのち(Ⅰテサ 2:19)</p> <p>2. 苦難と答えはすべて過程-みことば成就、世界福音化が最高の答えと祝福</p> <p>3. これと私が一致しないので天と地のすべての權威でともに、御座の力を約束。</p>	<p>私たちは神様の神殿を作ろうとしている。今、幕屋運動したモーセ、神殿準備したダビデ、パウロチームと同じ答えが起きている。次世代を生かして、人々が力を受けることができる資料を目で確認して祈らなければならない。</p> <p>□序論</p> <p>1. 幼子、肉に属する者、ねたみ、紛争しているのに、できるだろうか</p> <p>2. 建築-信仰で作った神殿は風、雨が降っても大丈夫だ。</p> <p>3. 神殿があなたの中に-この答えから受けなければならない。</p> <p>イエス様の約束-助け主聖霊</p> <p>1. ヨハ 14:16 永遠にともに 2. ヨハ 14:26 思い起こすようにして悟らせる</p> <p>3. ヨハ 16:13 真理の中に導き、これから起こることを伝えてくださる</p> <p>4. 使 1:8 聖霊が満たすように臨めば力を受けて地の果てまで証人になる</p> <p>△これを信じて仕事をする人があまりないから、こういう(序論)ことがあるのだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 御座のやぐら(朝-力を受けるべき) <b>あなたがた-宮(神殿)</b></p> <p>1) 幕屋、会見の天幕(動いて集い)、天幕(幕屋に向かって作った家)の答えを受ける。</p> <p>2) 三つの祭りが私の中に成り立つ。 3) 契約の箱-変わらない契約</p> <p>4) 荒野 40 年の間にあったこと-皆さんが受ける答え</p> <p>5) 主のやぐら、旅程、道しるべ-私の中に</p> <p>△ただ福音と祈りをしたが世界福音化の門が開いた。</p> <p>2. 御座の旅程を進みなさい(昼-すべてを祝福、答えとして見る目) <b>現場-神殿</b></p> <p>1) 使 13:1-5、16:6-10、19:8 現場で聖霊の導きを受ける。マケドニアに、ティラノに</p> <p>2) 使 13:5-11、16:16-18、19:8-20 暗闇が砕かれて、悪霊につかれた者、不治病の者の救い癒やし</p> <p>3) 使 13:12、16:15、40、19:21 総督、リディア、看守が弟子として、ローマ</p> <p>3. 御座の道しるべを作りなさい(夜-答えを受けて、みことば確認) <b>訓練-派遣-神殿</b></p> <p>1) RT、TCK、CCK、NCK 2) 3 時代 24、25、永遠する神殿が必要</p> <p>3) 記念碑を残すこと</p> <p>△7・7・7 を私のやぐら、私の旅程、私の道しるべとして、そして、このような人々が来るようにすべき。心に祈りと契約を入れなければならない。</p> <p>□結論</p> <p>1. 力(24) 受ける奥義-生活と苦しみの中で神様がともにおられるということと答えを見つけて出さない。ほかの人が見て分かるインマヌエル、未信者が見て分かるワンネス</p> <p>2. 答え(25) -御座の力が現れること</p> <p>3. 祝福(永遠) -私たちが受ける本物の祝福は永遠のこと</p> <p>△神様の永遠の契約とその福音を信じる時、義と認められる。信じる時、私たちの霊が力を受ける。霊的世界が変わる。脳もからだも生かされる。</p>